EdTech 導入補助金2022
令和3年度補正 学びと社会の連携促進事業
（先端的教育用ソフトウェア導入実証事業）費補助金

# 効果報告レポート

【事業者名】

**株式会社 With The World**

【ツール名】

**学び・交流を止めない「教育」、「オンライン×国際交流 世界各地の同年代と育む異文化理解と一緒に考えるSDGs」**

【ツールの機能分類】

**学習支援・授業支援（LMS)**

**2023年2月**

**With The World は**

**海外の同年代との交流を通して、**

**人生に関わる学びと体験を創造します。**

With The World

**世界 60 か国の海外校とのつながり、英語力向上や国際的な視野を広げる！**

## オンライン国際交流授業

海外校の生徒とオンラインでつながり、互いに学び合うプログラムです。先生方が求めるゴールイメージや学校の習熟度に合わせ、2つのスタイルのプログラムを用意しています。ひとつは、互いの共通点などを探しながら、楽しいコミュニケーションを行う異文化交流授業。もう一つは、互いの国に関する社会問題をテーマに掘り下げ、国境を超えた深いつながりを見出す探究型授業。自然とコミュケーションをとれる環境を整えることで、英語に対する苦手意識の克服にもつながります。また、刺激ある異文化との交流によって、思考力や国際的な視点も深めることができます。

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

With The World

## ツールの特徴（他の製品との違い）

**ICT活用　学校・自宅どこからでもアクセス可能！**

海外校と**オンラインで繋がり**、**英語**を使って**現地の人と交流**します。

インターネット環境のある学校または生徒自宅より1人1台の機材（パソコン・タブレットなど）で参加します。

授業は日本4~6名、海外2~5名で構成される**少人数グループで進行**するため、

しっかりと生徒一人ひとりに発言の機会があります。

- 国内の小・中学校から大学までと海外の学校の**同年代**をオンラインでつなぎ、社会課題について議論するアクティブラーニングプログラム。
- 世界60カ国の連携校と、日本全国の学校を結び、日本校の探究テーマや授業の回数、頻度、進行スケジュール等、**日本校の要望に応じたオンライン国際交流プログラム**を実施。
- 授業には弊社**アシスタントスタッフ**が常駐し、言語やファシリテーションを生徒の言語レベル・成長度に合わせ、サポートをしている。
- 一例として、年間プログラムでは、2カ国の同世代と一緒に身近な社会課題を考え、社会問題の解決策をSNS等を通じ世界に発信している。
- 意見交換やフィードバック等を通して多角的な視点で思考を深め、課題解決力を磨くため、**世界数10カ国以上の高校生が参加する世界大会**を実施。

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

With The World

## 活用場面

- 英語の授業
- 総合的な探究の時間
- 長期休業中のイベント　等

## 料金体系

- 対象：小学校～大学生
- 1回1～2コマ
- 3,000円～5,000円/回
- 学校の特徴ごとに合わせた
  オーダーメイド型プログラム

## ツール活用による効果

**＜短期プログラム：1~2日間＞**

- 英語学習への意識の向上
- 異文化・多文化理解
- 社会貢献意識の向上
- ICTリテラシーの向上
  （ZOOMやパワーポイント等）

**＜中・長期プログラム：5日間～カリキュラム＞**

- 英語コミュニケーション力の向上
- 課題解決力の向上
- 合意形成力の向上
- Critical thinkingの向上
- ICTリテラシーの向上
  （SNSの活用、Googleツール、Padlet等）

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

## 1. 学習指導要領改訂への対応

学習指導要領の改訂により、以前に増して「話すこと」・「書くこと」が重要視されるようになった外国語科科目であるが、授業では依然，文法・語彙、「読むこと」・「聞くこと」等の知識の定着に重きが置かれている。ALTも活用されているが、1名のALT対1学級の生徒の授業の中では、生徒の初はの機会は乏しく、「やりとり」や「即興性のある会話」が展開されることが困難である。
また「主体的・対話的で深い学び」の重要性が掲げられる中においても、テストや受験等に向けた指導が主になることが多く、生徒が主体的に探究を進めるための「アクティブラーニング」を推進していくことも、学校現場への導入も難しいとされている。

## 2. 時間と手間のかかる国際交流授業のコーディネート

国際交流授業を実施する際には、海外校の選定やプログラム作成、海外校との英語での連携等、多くの時間と工程を要する。従って、教員の負担が多く、国際交流の実施を検討していても、中々実施に漕ぎ着けることは難しい。また、海外校との調整の中で多額の仲介料等を請求されることもあり、学校として実施する際には費用面でも多くの課題が残っている。

## 3. ICTリテラシーの低さ

ギガスクール構想において、生徒1人に1台の端末が与えられているが、その活用方法は学校により様々である。授業内では、画面共有やプリントの共有等、教材に代わるものとしての使用の傾向が多く、ICT機材を使用し、より学びの幅を広げ、児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促進させるためには、より一層の工夫が必要となる。

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

# ■ EdTech導入補助金2022における活用事例

With The World

## 一斉授業型文化交流

川西小学校のプログラムでは、「異文化交流」要素を多く取り入れるため、また「初めての国際交流」に抵抗なく参加するため、クラス全員で学校紹介や文化紹介を行う国際交流授業を実施した。
写真やデモンストレーションを用いた発表や動画やパワーポイントプレゼンテーションを使用した発表を通し、互いの国のことを知り合い、小グループでの交流の導入に効果的であった。

## 小グループ国際交流「やりとり」を意識したプログラム

川西小学校及び星陵台中学校のプログラムでは、「英語コミュニケーション」と「異文化探究」をテーマに、小グループでの国際交流を実施した。
アシスタントと練習した英語フレーズやワークシートに記載されたサンプルクエスチョンを利用しながら、児童・生徒が海外生と直接コミュニケーションを図り、英語での「やりとり」が大いに促進されたグループワークとなった。

## ICT利用・英語使用を後押しする徹底したサポート

教材のサンプル

即興性の高い海外生との「やりとり」の中で、コミュニケーションが円滑に進むよう、またICT（主にZOOM機能）が使えるよう、事前または授業の冒頭にオリエンテーションや英語コミュニケーションフレーズの練習の時間を設けた。これにより、児童・生徒は自ら進んで反応をしたり、コミュニケーションを進めることができた。

Copyright ©2023 With the World Inc. All Rights Reserved.

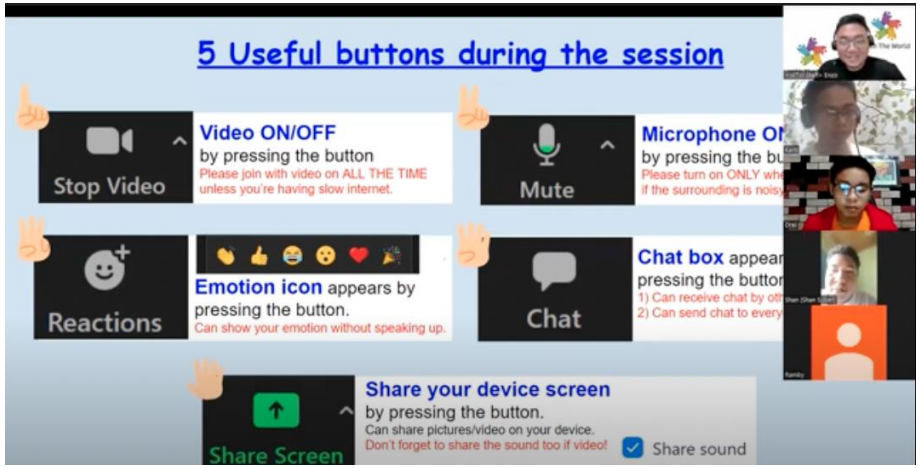
# ■ 補助事業において実施したサポート内容

## ①丁寧な事前サポート

ワークシート
サンプル

営業部（3名）、教育部（4名）による連携で丁寧なサポートを実施。事前には授業内容に合わせたワークシートや目標設定アンケートを配布。また日本生とのZOOMオリエンテーションを実施し通信やZOOM操作の確認をした。事後にはICTサポートマニュアルを共有した。
学校の担当教員との事前打ち合わせを2回以上実施。今回は川西小学校と2回、星陵台中学校と4回行った。

## ②海外校とのコーディネート




授業内容や学校のプログラム実施時間帯に合わせ、海外校の選定～調整、海外生の指導までを包括的に実施した。今回のプログラムでは、マレーシア・インド・台湾・フィリピンと交流を実施したため、それぞれの学校ごとの実施を行った。
弊社外国人スタッフのサポートのもと、海外生が円滑に授業に参加できるようにオリエンテーションを実施した。

## ③事後報告会の開催

学びの成果レポート
サンプル

授業アンケートや授業観察を用い、国際交流授業を通した生徒の成長をまとめた「学びのレポート」を作成し、担当教員と振り返り打ち合わせを実施した。今後の授業の展開に関するアドバイスや意見交換を行った。

※こちらのサポートは通常サービスの一環として行っているものと同様である。

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

With The World

本事業を活用し、下記の学校に導入

・加古川市立川西小学校（加古川市教育委員会）(小学6年生)

・神戸市立星陵台中学校（神戸市教育委員会）(中学1年生)

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

# 加古川市立川西小学校（加古川市教育委員会）

**オンライン国際交流**
期間：5日間
（10月11日、17日～20日）
交流国：マレーシア
1日目　互いの国の紹介（一斉授業型）
2日目　自己紹介及び質疑応答
3日目　学校紹介（一斉授業型）
4日目　ゲームアクティビティ
5日目　質疑応答

## ①英語におけるコミュニケーションストラテジーの習得

言語的コミュニケーションのみならず、非言語的コミュニケーションが相互理解やコミュニケーションの活性化にどう影響するかについて、**実践を通して体得**し、その事項について躊躇なく**「試みる」**ことができていたため、**国際交流の場における「自身のコミュニケーションの取り方」を確立**することができた。特に、個人が視覚教材や文字を利用したコミュニケーションは、教科としての英語の時間では、時間や教材等に関連しなかなか取り扱うことが難しいが、実践的な場であったからこそ、**児童自身が気づき自律したコミュニケーターとして成長**することにつながった。

## ②ICTリテラシーの向上

1人一台のデバイスから参加したことにより、児童が自分のペースでリアクションができたり、チャットで会話ができたり等、ICTをフル活用する機会が提供できた。また、**児童のICTに関する飲み込みの速く**、**校内でのICTを利用した取り組みが存分に生かされるプログラム**となった。

## ③経験/既習事項の応用

児童の傾向として見られていた点として**「ロールモデルをコピーする」**ことが、自然に行われていたことが挙げられます。各小グループにつくアシスタントやMC・ファシリテーターのコミュニケーションの取り方を観察し、**児童自身がコピーし応用していく姿**が随所に見られた。また、様々なコミュニケーションの取り方に挑戦する意欲的な姿勢が見られ、その中で「伝わった！」「できた！」という**成功体験が児童のモチベーションを向上**させ、**日を追うごとに積極的に交流に参加する姿勢や態度へ変容**した。

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

With The World

## 活用による効果の推移

**1日目**

国際交流の雰囲気や流れを掴む

**2日目**

ICTの練習・コミュニケーションの練習＜**習得段階**＞

**3日目**

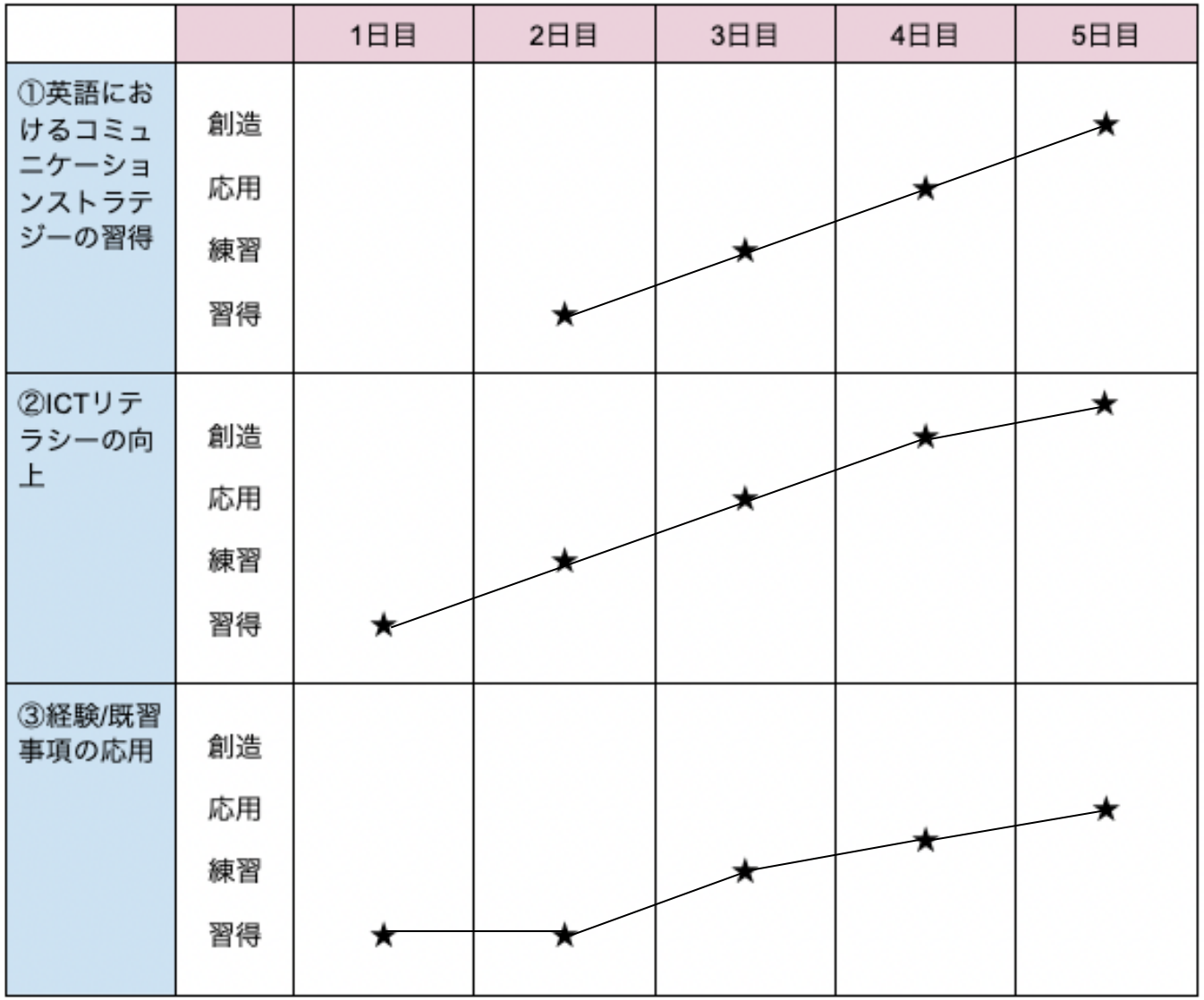
ICTの練習・コミュニケーションの練習＜**練習段階**＞

**4日目**

ICTの応用・コミュニケーションの応用＜**応用段階**＞

**5日目**

様々な要素を統合したコミュニケーションストラテジーの創造（確立）＜**創造段階**＞




Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

# 神戸市立星陵台中学校（神戸市教育委員会）

**オンライン国際交流交流**

期間：5日間

交流国：

フィリピン（3組）インド（2組・4組）台湾（1組）

1回目 10月17日(月)　自己紹介

2回目 11月7日(月)　日本の学校・行事紹介

3回目 11月14日(月)　地元のおすすめ

4回目 11月21日(月)　言語交換

5回目 11月28日(月)　英語学習の方法

**1日目　自己紹介**

全体で練習した「**英語コミュニケーションフレーズ**」を用い、”Can you repeat again, please?”や”Could you type in the chat box?”を利用し、プログラム後半では、**口頭やチャット、またはジェスチャーを意識したコミュニケーション**が増加した。

**2/3日目　日本の学校・行事紹介/地元のおすすめ**

パワーポイントプレゼンテーションを視覚資料としたプレゼンテーションが各グループで展開され、日本側の生徒たちは、**必ず個人パートの後に質問を加えていたこと**により、コミュニケーションのスタートを円滑に始めることができた。また、**「単語で伝える」⇨「文章で伝える」ことに重点を置いているグループ**もあり、**正確な英語の使用について注意深く考慮している姿勢**が見られた。また、円滑なコミュニケーションのために視覚的教材を見せたり、ジェスチャーをしたりといった「**非言語的コミュニケーション」の力が極めて高く**、自主的に工夫しながら意思疎通を図った。

**4日目　言語交換**

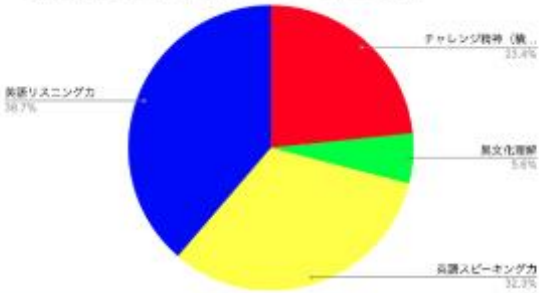
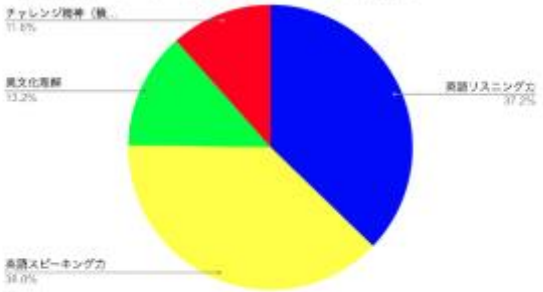
**”Repeat after me”のクラスルームイングリッシュ**を用いながら、言語交換を実施した。4日目に顕著に見られた傾向として、「**英語の訛りへの対応力**」でした。今回の交流国は、英語ネイティブの国ではなかったため、初日の段階では「聞き慣れない英語」に戸惑う姿もあったが、**4日目の交流では問題なくインド英語を聞き取れており、英語リスニング力の向上のみならず、多様な英語の在り方を受容し、それを理解する姿**が見られた。

**5日目　英語学習の方法**

**準備してきたスピーチを、原稿を見ずに目線をカメラに向けてスピーチを行う姿も見られ**、5日間で身につけた英語コミュニケーション力と自信を大いに発揮できる場となった。最後のフリートークでは、お互いの好きなものやSNS等について、同世代として話しやすい話題で、**自主的にトークを展開する姿**も見られた。

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

## 活用による意識の変化 (n=143)

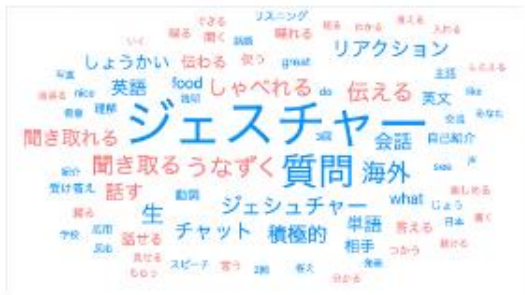
| プログラム前 | プログラム後 |
|---|---|
| **最も伸ばしたいスキル** | **最も成長したスキル** |
| 「国際交流の中で、1番成長させたいと思う項目」<br>  | 「国際交流の中で、1番成長したと思う項目」<br> |
| | **もっと頑張りたかったスキル** |
| | 「国際交流の中で、もっと頑張りたかった項目」<br>  |

- 生徒は今回の国際交流プログラムを通し、**異文化理解を大いに深め(5%⇨13%)**、初回に設定した目標の「**積極的にチャレンジをする姿勢**」を継続し、積極的に交流を行うことができた。
- 英語リスニングやスピーキングについては、初回アンケートにおいて最も伸ばしたいスキルであり、プログラムを経て最も成長したスキルとして上げていることから、このプログラムが生徒の英語学習において一定の成果を上げたことの表れである。
- 一方で、もっと頑張りたかったスキルについても、リスニングとスピーキングが挙げられている点については、5日間のプログラムを通して、生徒がモチベーションを低下させることなく、真摯に英語力の向上に努めたこと、さらには、プログラムにおいて、**「できた」または「できなかった」経験が、生徒のモチベーションをより一層向上させ、国際交流における英語の重要性に気がつき、今後の英語学習へ向けた意欲を向上させること**ができたと考えられる。

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

With The World

## 活用による目標の変化

| プログラム前 | プログラム後 |
|---|---|
|  | |



- 絵や写真を見せて伝えたいことをわかりやすく説明する。
- うなずいたりして、リアクションをしていきたいし質問をできるだけして関係を深められるようにしていきたいです。

- 台湾の言葉や、行事など、たくさん教えてもらったのでもっとほかの国の文化などを意識したいです。
- これから何度も音読をして、書くことを毎日したい！
- 普段の英語の授業でこの国際交流を思い出して習った単語を使って話していきたいです。

### プログラム開始前の目標とプログラム後の目標の比較

- プログラム初回には「どのようにコミュニケーションを図るか」に焦点を当て、**非言語的なコミュニケーション**が目標となっていた生徒が多かったのに対し、プログラム後には**「英語をツールとして使用する」事の重要性**を実感し、スピーキングやリスニング力を伸ばしたいという**言語的なコミュニケーション**を目標として設定するという変化がが見られた。
- 特に、生徒の目標設定が非常に明確であり、**目標を達成するために自分がすべきことにも言及**することができる生徒が多く、**プログラムでの経験が、生徒の学習意欲の向上に大きく寄与した**と言える。
- 「海外生のように英語が話せるようになりたい！」という感想も見られ、**海外生をロールモデル**とし、**生徒自身が英語話者＜Language User＞**としてどうありたいかについても、今回の経験を通し考えることができた。
- プログラム後の目標設定を見ると、「**異文化への関心**」が非常に高まっていることが感じられます。プログラム前には異文化への関心が、あまり高くない結果でしたが、実際に海外生と交流をすること、また他のクラスが違う国の生徒と交流をしていることも刺激となり、**より一層世界を知りたいという気持ちが高まった**ことも、今回の国際交流を通した大きな成長であった。

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

# ■ EdTechツールを活用した児童・生徒・教員のコメント感想等

With The World

## 生徒の感想

- 国際交流で自分のしゃべった言葉が通じたり、習い事で英語をしていて自分のリスニング力やスピーキング力がためになってうれしかったので、将来外国にいって通訳を使わずに自分の力で話したいと思った。そのためにもっと集中して英語学習に取り組みたい。

- 外国の人と話す機会はそんなにすぐは来ないと思うけど、いつかまた何かで外国の人と交流ができるなら、とても貴重なことだと思って、質問したり、相手の話をよく聞きたいと思う。また、「日本はこうだから！！」と相手に押し付けることなく、互いを尊重しながら話していきたいです。そして、もっと外国の人の英語の発音を聞いて、慣れていきたいと思いました。

- 最初はマレーシアのことをあまり知らなかったけど、マレーシアの食べ物やお祭りのことについて知れ、マレーシアと日本の違いが分かって楽しかったし、日本のこともたくさん知ってもらえてよかった。違う国の文化に触れられたことでとても興味が湧いた。

- 自己紹介で自分が好きなアイドルのことを話したら海外生が喜んでいて、自分が好きなものを分かち合える仲間が海外にもいたことがとても嬉しかった

## 担当教員の感想

＜川西小学校校長先生＞

児童の授業後の感想文では、「他の国の小学生と話ができてとても楽しかった。」「外国のことを、直接知ることができてよかった。」「この交流を続けていきたい。」等、教員側の予想を上回る交流授業に対する児童の評価であった。国際理解教育という観点においても、多様な考え方に対する理解や、国際協調の精神を養うことができるものと考える。また、本物のコミュニケーションを経験することで英語をより主体的に勉強しようとする意欲につながったのではないかと考える。

＜星陵台中学校担当教諭＞

聞こえにくくてもチャットを活用したり、わからなくても自分の端末で調べてから言ったり、グループメンバー同士助け合ったりと、子どもたちの柔軟さに、私の方が学ばせていただいています。
使えるフレーズ練習や、面白いクイズなど、丁寧に対応してくださってうれしかったです。
生徒たちは、こんどはスライドなしで言葉だけで伝わるようにしなければと、Wordのディクテーション機能を利用して、発音チェックをしています。
素晴らしいプログラムと多大なサポートのおかげで、生徒たちのコミュニケーションへの興味関心、態度が大きく成長しました。
本当にありがとうございました。

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

# ■ EdTechツールの導入・運用における課題とその改善策

With The World

**①英語学習効果の検証**

【課題】

本オンライン国際交流を通し、生徒はICT利用・異文化理解・英語コミュニケーション力の面で大きく成長し、普段学校現場では実施が難しいとされる学習指導要領に即した「やりとり」・「即興性」をカバーすることができた。意識や目標の変化について図ることができたが、質的な分析に偏り、定量的な効果（英語力等）を実証していくことが必要である。

【改善策】

神戸大学・大学教育推進機構・国際コミュニケーションセンター 教授横川博一氏との共同研究に基づき、オンライン国際交流における英語力の推移を図る評価アセスメントを導入する予定である。

**②多くの学校現場への展開**

【課題】

プログラム日程調整や事前準備の説明等、担当教員への依頼も少なくない。学校行事や授業時間等で、年間及び日毎のスケジュールの制約が多い中で、より多くの学校でオンライン国際交流授業を展開するために、担当教員の負担を減らしながら導入ができるよう、弊社のサポート体制をより一層強化していく必要がある。

【改善策】

担当教員との連携を密に図るとともに、準備授業の実施方法やプログラム実施までの流れを動画やマニュアルを用い、より円滑に行うことができるよう準備を進め、関わる教員との打ち合わせも学校の状況に合わせ可能な限り実施する

**③財源確保の課題**

【課題】

オンライン国際交流授業の導入に際し、公立学校の場合、予算が各市町村教育委員会により決定されることにより財源確保が課題と言えます。市町村内の学校全域に導入を検討するにあたり、今回の導入で実証された効果を浸透させると共に、導入校の選定や実施内容等についても各教育委員会と連携を図ることが必要である。

【改善策】

今回導入した加古川市及び神戸市教育委員会と今後も密に連携し、報告会の実施や次年度に向けた実施計画を調整する。

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.

## ■ 会社概要

With The World

**商号**：株式会社With The World
**設立**：2018年4月2日
**資本金**：18,000,000円
**事業内容**：
＜オンライン＞問題解決型国際交流協働プログラム（SDGs＆異文化理解）
＜事前事後研修＞海外/国内渡航前　探究学習（探究型修学旅行）
＜海外/国内実地研修＞オンライン×実地研修で探究を深める　SDGsフィールドワーク研修
**許可番号**：兵庫県知事登録旅行業第3－827号
**本社所在地**：
〒650-0035
兵庫県神戸市中央区浪花町56 起業プラザひょうご内
URL: https://withtheworld.co/　Tel:078-600-2294

Copyright ©2023 With the World Inc.  All Rights Reserved.